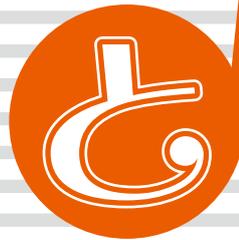




平成29年2月1日発行

No.4



## ごあいさつ

県母子部会長 田口 茂子

新年を迎え、皆様におかれましてはお元気で過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、10月1日に実施しました「親子ふれあい会」では、元気に走り回る子ども達の姿に喜びを感じ、また、10月30日の「ひとり親家庭サポーターのつどい」では、鹿島田さんの講演や鈴木さんの体験発表で「立ち直る力」について感動と勇気が湧いてくる良い話が聞けました。このような行事を盛大に開催できましたことは、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、昨年、子どもが短大で勉強するために借りた修学資金の返済を完了しました。10年間の返済を終えた今、あの時お金を借りてでも学校に上げて良かったと思っています。ある日の事でした。息子から「福祉の仕事に就きたいので、短大で勉強したい。」との相談がありました。入学金とか授業料がかかるがいいかな、大丈夫かなと母親に気遣い、遠慮がちの相談だったこと今も思い出します。現在、息子は夢を叶え、介護の仕事で頑張っています。

子どもの教育は一生の内僅かな期間、お金は後で返していけば良いのです。現在進学を考えているお子様のいるお母さんお父さん、諦めないで子どもの希望を叶えさせてください。教育は財産です。修学資金貸付金の他にも支援策があります。

なお、政府から大学や短大などへの進学者ら一学年当たり約2万人に、返還不要の給付型奨学金制度を2018年度から導入すると発表がありました。長年の願いでありました給付型奨学金制度がやっと創設されたとの思いを感じているところです。ただ残念なのは、新聞報道によりますと、対象者は全国に5千校ある高校で各校1名程度しか支援が受けられないとのことですので、今後、さらに制度が拡充されることを願っています。

結びに、これからも皆様の心と体のご健康をお祈りすると共に、ひとり親家庭福祉連合会母子部会のますますのご発展を願っております。

### 平成29年度 全国統一活動テーマ

支え合い、共に目指そう明るい未来

### 平成29年度 討議テーマ

母子に関するテーマ：目指そう！自立、活かそう支援策

母子・寡婦に共通するテーマ：母子と寡婦 明日へつなぐ世代の輪

ひとり親家庭の子どもに関するテーマ：育てよう「自立」、なくそう「孤立」

※ひとり親家庭の子どもに関するテーマ『育てよう「自立」、なくそう「孤立」』については、当連合会が提案したものが採用されました。

# 頑張ってます!

各市町母子会の活動状況や頑張っているお母さん、子どもたちを紹介します。

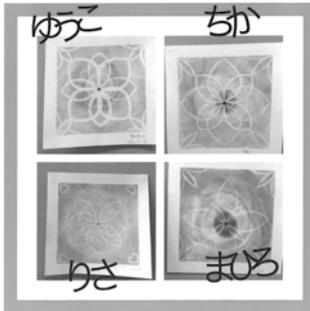
## \* 鹿沼市 \*

7月10日(日)心と身体のリラクゼーションとして、アートセラピー体験会を親子で楽しみました。



小さな画用紙に48色の中からひらめいた色を3色選び講師の指導で描いていきます。絵心がなくても

小さなお子様でも上手に描けます。色を選ぶ時から楽しくワクワク感でいっぱいになり、見ているだけでなぜか癒される曼荼羅模様の花が、個性ある色や形



に仕上がりました。素敵なアートを仕上げた満足感や達成感で自分に自信を持ったという人もいたようです。その時選んだ色が心の奥にある感覚や感情を表現するらしく、描いた後にアドバイスを受けたり、ハンドマッサージやヘッドマッサージ体験したり風船に絵を書いたり遊んだり、日常の慌

ただしい毎日から離れ自分と向き合い、子どもと向き合う笑顔の沢山あるリフレッシュした一日となりました。

7月だったので七夕に願いを書きました。

「楽しい生活がずっとつづきますように☆大きくなったらお金持ちになれますように☆ピアノがならえますように☆」それぞれの思い、いろいろな願いでいっぱいでした。



「ぶちとまと」人の縁をつなげるという意味があるそうです。素敵な沢山の縁がつながりますように♪ (K・F)

## \* 小山市 \*



私が今がんばっている事は二つあります。

一つ目は、4年生から始めた陸上です。私は短きより走がとくいです。練習はタイムをはかったり、

大会に出たりします。いつもきんちょうしますがタイムがちぢまるとうれしいです。

二つ目は、3年生からやっているプラスバンドです。私はトロンボーンをやっています。高い音と低い音の音かいの指番号が同じなので、ふき方で調整します。年に2回は音楽祭や学校祭でふきます。6年生までは、がんばって続けたいと思います。(K・K)

## \* 高根沢町・さくら市 \*

夏休み真っただ中の8月2日、ながわ水遊園へバス旅行に行きました。大きなバスに揺られること40分、おとなしくしていた子ども達も、バスを降りるとまっしぐらに会場に走って行きました。

魚を見学していると、トンネル水槽の上をピラルクーが通過しました。おーっと、魚好きにはたまりません。タッチング水槽では、カメやヒトデなどが触れます。ドクターフィッシュもいました。角質を食べてくれる魚です。手を水の中に入ると、あっというまに手が魚だらけです。みんな初めての出来事に大喜びでした。



魚たちとお別れして、同じ建物の中にある「味わい工房」で、私の大好きなピザ作りにチャレンジしました。粉からこねてピザを作りました。絹ごし豆腐を入れると発酵時間がいらなそう。びっくりポンです!自分で作ったピザの味は120%おい

かったです。

たくさんの発見とたくさんの笑顔、夏休みの宿題も二つくらいはできたかな?

(橋本 真澄)



## 編集後記

今回の「ぶちとまと」いかがでしたか。母子部発行の「ぶちとまと」もNO.4になりました。

毎回各市町の事業報告、参加者の作文、母子部主催サポーターのつどいの感想文、母子会の情報等色々、会員の皆様に、母子会が如何に自分達にとって必要であるか、また母子会ってどんな会なの?と疑問のある方々が「ぶちとまと」を読んで少しでも理解していただければいいと思います。そのためには、一度読んでポイされないう様に、これからも頑張っ参ります。

アメリカの大統領がトランプ氏に決まりました。日本にも色々影響があり、これから生活して行くのに大変な世の中になりそうですね。母子主婦の皆様、余り被害がよばない事を願うばかりです。

皆様の投稿お待ちしております。(足利市 M・M)

親子ふれあい会

H 28・10・1 (土)

10月1日(土)、大洗水族館に行きました。

僕は、妹とお母さんと参加しました。特に大きな水槽には圧倒的迫力があり驚きました。他にもエトピリカやアザラシのえさやりやイルカのショーなどを見ることができました。



それから、スタンプラリーを回り、景品も手に入れることができてよかったです。

僕が特に楽しかったのは、深海のコーナーです。色、形様々なクラゲや見たこともないような生き物が展示されていてとても楽しめました。中でもメンダコは、ぺちゃんこにつぶれている感じでヌメヌメしているようでした。

またお昼には、カレイやマンボウの形をしたコロケ、サメのナゲットなどおいしい物をたくさん食べました。

帰りには、たくさんおみやげを買ってもらい最高の日でした。また行きたいです。

(栃木市 藤原 匠)

雨が肌寒さを際立たせバスに乗り込む足も億劫な私とは裏腹に、浮き足立つ大勢の児童達。悪天候など全く気にならないかのように皆笑顔でした。今日は、ひとり親家庭福祉連合会主催の親子ふれあい会です。小学校に上がってからは、親子でバスに乗る機会も無い児童達は本当に嬉しそうに車内でおしゃべりに興じていました。親子でバスに乗れる喜びを語る子、これから向かう水族館への期待に胸を膨らませる子、とにかく賑やかな出発となりました。高速のサービスエリアでの出発式を終え、待ちに待った水族館に到着。思い思いに館内を巡り自由時間を満喫しました。

鮫の餌やりショーや元気なイルカショー、愛らしいペンギンに色とりどりのクラゲや美しい熱帯魚など水族館ならではの演出に、どの親子も喜々としてそれぞれの時間を過ごしていたように思います。



長いと思われた時間はあっという間に終わり家路に向かう時刻となりました。どの子も名残り惜しそうにお土産の袋を下げバスに戻って来ました。

最初は子供達を喜ばせたいという思いで参加した私も、気づけば子供達と同じように楽しんでいた事に気づき、帰路のバス中でも子供達と笑顔を交わしながら水族館での思いを語り合えました。楽しかった事、驚いた事、そして次回への思いを残し、楽しい遠足が終わりました。

私達を含め、日々の忙しさに紛れてなかなか遠出が叶わなかった家族もいたと思います。そんな中であって、このようなイベントを企画して下さった、ひとり親家庭福祉連合会の皆様に心より感謝申し上げます。

(壬生町 栃村裕美子)



10月1日に大あらい水族館に行きました。

最初にイルカショーを見ました。ハロウィンのショーになっていて面白かったです。

サメコーナーでは、ぬけたサメの歯を沢山見つけました。マンボウ

ウのエサやりや、大きい水そうでのショーも見れました。

どれも楽しかったけど、一番楽しかったのは三回目に見たイルカショーです。何が楽しかったかというと、ぼくの方に水しぶきが沢山かかったからです。

次は夏に来て海でも遊びたいです。(佐野市 穂原 歩夢)

親子ふれあい会参加者アンケート結果

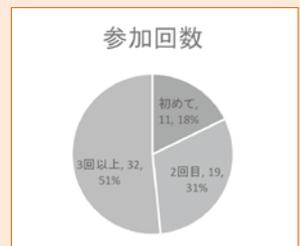
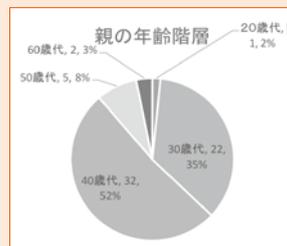
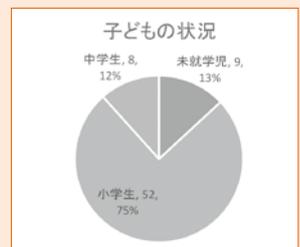
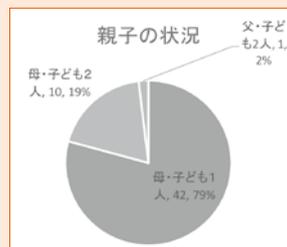
参加者138名(大人69名、子ども69名)

【良かったこと】

- ・親子で楽しくすごせた
- ・子どもの笑顔を見ることができた、喜んでくれた
- ・子どもと普段話せないこともたくさん話すことができた
- ・リフレッシュができた

【望むこと】

- ・トイレ休憩が大変混雑した。混雑を避ける日程を組んで欲しい
- ・バスが狭くて、体が痛かった。予算のこともあるが、もう少しゆとりのあるバスを手配して欲しい
- ・もう1カ所寄って欲しかった
- ・朝の集合場所の近くにトイレがあると良い



..... ひとり親家庭サポーターのつどい H 28・10・30(日) .....

【講演】

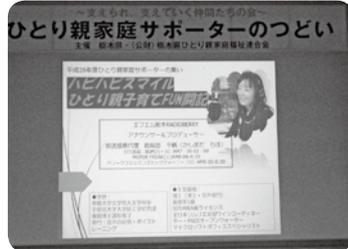
サポーターのつどいは、エフエム栃木アナウンサーの鹿島田千帆さんにご講演いただきました。「ハピハピスマイルひとり親子育てFUN闘記」ということで、「ひとり親になって肩身の狭い思いをしていませんか？ マイナスにとらえていませんか？」という、私達にはドキッとさせる言葉で始まりました。

ひとり親だから…と何かにチャレンジすることを諦めてしまったり、周りを気にして自分の生き方に制限をかける必要はありません。平均寿命が延びている現在、子育てが終わった世代の方もこれからの長い人生を、どうせなら「ハピハピスマイルな生き方を！」なんて前向き、ポジティブな方でしょう！と感じました。

その後、ご自身の離婚、その後の仕事と子育ての経験をお話ししてくださいました。お話を聞きながら、苦労の中でこんなに前向きに考えられるのはなぜなのかと思っていましたが、その答えはすぐにわかりました。「子育て」です。子育てすると幸せになれるということで、鹿島田さんの子育てのこだわり、ひとり親でも息子と一緒に絶対に幸せになってやる！という強い意志と目標。具体的なその一部として、なるべくひとりで過ごさないこと。一日一回は一緒に食事をとることなど、ひとり親家庭では簡単でないことを、周りの協力を得て実現させました。それにはまず、コミュニケーションが重要であること。近所のお付き合い、そして人を信じることです。わかってはいるけれど、離婚したことやその他の理由で自分に罪悪感を持ち、心が開けない人も少なくありません。でも、子育てすることにより、子どもも自分も色々なことを学びましたと元気いっぱいにお話しされるのを聞いて、何だか私も！と元気が出てしまうのは、その後にお話しして下さった「幸せは伝染する」という言葉にぴったりではないでしょうか。様々な経験、沢山のチャレンジをしてきた鹿島田さんがイキイキしているのにとっても納得します。これから何かにチャレンジしよう！と決心した方は私だけではないと思います。子育てに悩む時期も一つの経験であり学びでもあるということを今ひとりで悩んでいる、ひとり親子育て中の方にも伝えて行きたいと思います。

ひとり親家庭でも「ハピハピスマイルな子育てを！」幸せは伝染するというので、今後はサポートし、相談に乗る立場である自分が、まずは幸せにならないといけないと改めて感じました。

(真岡市 落合真由美)



【パネルディスカッション】

「立ち直る力」をテーマにパネルディスカッションが、コーディネーターにエフエム栃木の鹿島田千帆さん、パネラーに栃木県中央児童相談所の岩井幸祐さん、さくら市母子父子自立支援員の中津原なおみさん、ひとり親家庭の鈴木あきさんにより行われました。

鈴木さんは、ひとり親になったのが2年半前。手続に行った市役所で医療事務研修のチラシを見つけ「この先資格があった方が良い」との思いに医療事務の資格を取得されました。小児科に就職し窓口業務をしていましたが、就労時間や収入など将来を考え准看護師になろうと決意したのです。現在、准看護学校で資格取得のため勉強中です。朝、6歳と4歳の子供を小学校と保育所に預け学校へ、夕方お迎え、家事をして自分の勉強は子供が寝た後。睡眠時間も十分に取れない毎日だという事に、子供を抱えての資格取得は容易ではないと心から思える体験発表でした。鈴木さんの「やるべきことの道筋ができたなら、それが立ち直る力と考えている。」と前向きで力強い言葉に元気と勇気をもらいました。

中津原さんは、自分一人で頑張り過ぎず困った時には周りの人を頼ってほしい、相談してほしいと助言してくださいました。

岩井さんは、立ち直る力は支援的な人がそばにいてくれる事が必要である。又、暴力やDVから逃れひとり親になること自体が立ち直りの一歩であると感じることがあると話してくださいました。



鹿島田さんの「鈴木さん応援してるからね。」という励ましの言葉に同じ思いの会場全員の大きな拍手でパネルディスカッションは終了しました。

(下野市 田口茂子)

ひとり親家庭サポーターのつどい アンケート結果

参加者143名

【良かったこと】

- ・力強く前向きな講演に力がわいた
- ・若いお母さんに聞いてもらいたい
- ・共感できる話で背筋がシャントした
- ・元気をもらいました

【望むこと】

- ・目標、参考とするにはあまりにもハイレベルであった
- ・今回の話しは、恵まれていると思った
- ・パネラー1名の内容で話しが終わった
- ・本筋から離れた内容だったと感じた

